

病院薬剤師版バランスト・スコアカード導入に向けての取り組み
—コロナ禍における Web-SGD の可能性—

法人名	公益社団法人神奈川県病院薬剤師会
病院名	ファーマシーマネジメント委員会
職種・所属	薬剤師
発表者氏名	小田切正美
協力者氏名	小林岳 関口信香 大幸淳 庭木宏 廣瀬直樹 藤田明宏 吉田博史 岡添進 中村葉月 金田昌之 小村裕子 金田光正 赤瀬朋秀

【はじめに】

公益社団法人神奈川県病院薬剤師会ファーマシーマネジメント委員会では、病院薬剤部門の管理運営の一手法としてバランスト・スコアカード（以下、BSC）に注目し、その普及を目的として病院薬剤師版 BSC セミナー（以下、セミナー）を開催してきた。セミナーの開催は 14 回目を迎え、延べ参加施設数は 156 施設、延べ参加者数は 506 名に上った。セミナーは SGD 形式で行っているが、2020 年度は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、初めてオンラインでの開催を試みた。今回、オンラインで開催したセミナーについて検証し、After コロナ時代に向けた新たなセミナー開催の在り方について若干の知見を得たのでここに報告する。

【方法】

2020 年 12 月と 2021 年 1 月に全 2 回の 2 部構成でオンラインセミナーを開催した（参加施設数 4 施設・参加者数 18 名）。セミナーは基調講演と SGD を中心に行い、参加施設ごとに BSC を作成した。システムは Zoom とオンラインホワイトボードシステム Miro を使用した。セミナー開催後に参加者を対象とし、オンラインセミナーに関するアンケート調査を実施した。

【結果】

オンラインセミナーに参加した 4 施設は、従来の集合型研修と同様に自施設の BSC を作成することができた。アンケート調査では、オンラインでの開催形式について「非常に満足」「概ね満足」との回答が 86% であった。オンライン開催のメリット・デメリットに関する質問では、メリットとしては「感染症のリスクがない」「移動時間を短縮できる」などの回答が多く、デメリットは「画面越しだと雰囲気分かりにくい」「質問や意見するタイミングが掴みにくい」とする回答が多かった。

【考察】

今回のオンラインセミナーでは初参加・リピーター施設ともに BSC を作成でき、参加者の 80% 以上がオンライン形式に満足と感じていることから、一定の成果が得られたことが示唆された。オンライン開催については、PC や Wi-Fi 等の環境整備、コミュニケーション方法の改善等が今後の課題と考えられた。一方、遠方からの参加が容易、準備や経費の負担を軽減できる等の利点が明らかとなった。集合形式とオンライン形式のハイブリッド開催も検討し今後も病院薬剤部門における BSC の普及とマネジメントの適正化に努めていきたい。